

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 定期的に、身体拘束適正化委員会を開催する	定期的に身体拘束適正化委員会を、開催し その都度課題に取り組んでいき、継続して行く。	・職員会議の中で、身体拘束適正化委員会を開催する。 ・定期的に開催し、継続できるように行なう。	6ヶ月
2	2	○事業所と地域とのつきあい コロナ禍でもあり、地域との関わりは、不足している状況である。	ホームの状況等を紙面で、情報発信し 地域の方々に理解して頂く。	・自治会に、ご家族へ毎月発信している、さちね便りや 状況報告書などでホームの現状を理解して頂く。	6ヶ月
3	4	○運営推進会議を活かした取り組み コロナ禍の為、開催できていない状況	コロナが落ち着くまで、対面での開催が難しい為 紙面開催で状報発信し、意見等伺う。	・ホームの状況報告書、さちね便り等を見て頂き 意見を伺いながら、サービス向上に活かす。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。